

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030601120	予算コード	06090500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	介護給付適正化指導等事業			正規職員数	0.4	国庫支出金		有効性 A	今後介護給付の増大が予測されるため、介護給付適正化事業を引き続き実施していく必要がある。	
担当課	高齢介護課			嘱託職員数	0.61	府支出金	3,307			
根拠法令等	市単独事業 介護保険法 厚生労働省 『「第2期介護給付適正化計画」に関する指針について』 大阪府「第2期大阪府介護給付適正化計画」 泉佐野市「介護給付適正化計画重要事業実施計画書」			臨時職員数	0	市債				効率性 D
				歳出(千円)		その他				妥当性 A
				人件費総額	5,465	一般財源	5,465			受益者負担 該当なし
						減価償却費	0			
				事業費	3,307					
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	8,772	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	87	公的関与	A	市内30ヵ所の居宅介護支援事業所に対してヒアリングを実施し、市内57の訪問介護事業所のサービス提供責任者に対して2回連続の研修会を実施した。		
対象	活動指標			H26実績		実施主体・委託化	B			
特定の団体	対象数	47	居宅介護支援事業所に対するヒアリングの実施事業者数	30.0		他の事務事業との関連	C			
居宅介護支援事業者	研修会の実施回数			1.0		透明性	D			
事業の内容	介護給付の適正化を図るため、居宅サービスの要となる指定居宅介護支援事業所(ケアプランセンター)に対する指導を行う。			成果指標	H26実績	財政健全化計画	該当なし			
	①市内指定居宅介護支援事業所に対して、講師を招聘し1事業所に対して2回ヒアリングを実施する。26年度は30事業所に対して実施した。			居宅介護支援事業所に対するケアプランの点検件数	150.0	財政健全化の取組	該当なし			
	②市内訪問介護事業所を対象に研修会を実施した。訪問介護にかかるアセスメント、訪問介護計画書の作成やモニタリングについて2回連続の研修を実施した。			研修会への出席者人数	57.0	改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的	介護給付の適正化を図るため、居宅サービスの要である指定居宅介護支援事業所に対して、技術向上を図るためヒアリングや研修会を実施する。			コスト指標	H26実績					
	ヒアリング1回あたりの費用									
	研修会1回(1クール4回)あたりの費用									